

ミネラルスターのナスに対する効果事例

■ 試験期間

平成30年6月17日（定植日）～平成30年11月17日

※試験期間中の気象は高温乾燥の厳しい条件であった。

■ 試験場所

千葉県船橋市（黒ボク土壌に植物性堆肥を1,000kg/10a散布しトラクターで耕運した圃場）

■ 試験区の設定

各区2連制 堆肥以外は液肥を株本に2回追肥

- ①ミネラルスター30kg/10a区
- ②ミネラルスター60kg/10a区
- ③ミネラルスター100kg/10a区
- ④対照（コントロール）区

【定植方法】

露地圃場に左記の各散布量を約7㎡の範囲に散布し、耕運後畝立し黒マルチでカバーした。各区にナス（品種：「大黒田」カネコ種苗）の苗を50cm間隔で2本ずつ定植した。

ミネラルスターのナスに対する効果事例

<試験結果>

(1) 収量について、ミネラルスター（MS）区は対照区と比較して生育が優り、収獲量も次表のとおり60kg区は同等であったが、30kg区と100kg区では30～40%収量が増す結果であった。

項目 / 区名			① MS30kg /10a区	② MS60kg /10a区	③ MS100kg /10a区	④ 対照区 (無処理)
収獲月 (回数)	7月 (5回)	収獲量 個数	521 3	724 6	1,207 11	869 7
	8月 (4回)	収獲量 個数	3,194 20	2,781 15	3,406 19	2,660 17
	9～11月 (3回)	収獲量 個数	3,412 21	1,592 12	1,958 17	1,577 9
合計		収獲量 個数	7,127 44	5,097 33	6,571 47	5,106 33
④対照区を100とした指数		収獲量 個数	140 133	100 100	129 142	100 100

ミネラルスターのナスに対する効果事例 ＜試験結果＞

(2) 最終日11月17日に根の掘り取り調査を行った。ミネラルスター区は対照区と比較して、次表のとおり根量が多く、毛根が多くなっていた。また、茎の基部も太くなっていた。(次ページにMS30kg区と対照区の比較写真を示す)

区名	① MS30kg /10a区	② MS60kg /10a区	③ MS100kg /10a区	④ 対照区 (無処理)
根重 g (1区2本の計)	211	143	161	108
④対照区を100とした 指数	195	132	149	100

(3) 以上から、ミネラルスター処理によってナスの生育促進と収量増加が認められ、30kg/10a処理で十分な効果があると考えられる。

ミネラルスターのナスに対する効果事例 ＜試験結果＞

ナス試験地 11月17日の状況



MS30kg/10a区

MS60kg/10a区

MS100kg/10a区

対照区

根と茎の比較（11月17日）



MS30kg /10a区

対照区

ミネラルスターの シシトウに対する効果事例

■ 試験期間

平成30年6月17日（定植日）～平成30年11月17日

※試験期間中の気象は高温乾燥の厳しい条件であった。

■ 試験場所

千葉県船橋市

（黒ボク土壤に植物性堆肥を1,000kg/10a散布しトラクターで耕運した圃場）

■ 試験区の設定

各区2連制 堆肥以外は液肥を株本に2回追肥

- ①ミネラルスター(MS)30kg/10a区
- ②ミネラルスター60kg/10a区
- ③ミネラルスター100kg/10a区
- ④対照（コントロール）区

【定植方法】

露地圃場に左記の各散布量を約7㎡の範囲に散布し、耕運後畝立し黒マルチでカバーした。各区にシシトウの苗を50cm間隔で2本ずつ定植した。

ミネラルスターの シシトウに対する効果事例 <試験結果>

(1) 収量について、ミネラルスター (MS)区は対照区と比較して生育が優り、収穫量も下表のように5~15%増収した。試験区間中では、100kg区より30~60kg区で増す結果であった。

収穫月 (収穫回数)		① MS30kg /10a区	② MS60kg /10a区	③ MS100kg /10a区	④ 対照区 (無処理)
7月 (5回)	収穫量 個数	224 45	224 56	151 25	180 40
8月 (4回)	収穫量 個数	587 110	555 105	633 110	633 110
9~11月 (3回)	収穫量 個数	1372 211	1440 260	1,245 210	1115 192
合計	収穫量 個数	2,183 366	2,219 421	2,029 345	1,928 342
④対照区を 100とした指 数	収穫量 個数	113 107	115 123	105 101	100 100

ミネラルスターの シシトウに対する効果事例 <試験結果>

(2) 最終日11月17日に根の掘り取り調査を行った。ミネラルスター (MS) 区は対照区と比較して、根量が多く、毛根が多くなっていた。

(次ページにMS60kg区と対照区の比較写真を示す)

(3) 以上から、ミネラルスター処理によってシシトウの生育促進と収量増加が認められ、30～60kg/10a処理で効果があると考えられる。

ミネラルスターの シシトウに対する効果事例 <試験結果>

根と茎の比較 (11月17日)



MS60kg/10a区

対照区

11月17日収穫物の比較



MS60kg/10a区

対照区

ミネラルスターの枝豆に対する効果事例

■ 試験期間

平成30年6月18日（播種日）～平成30年8月18日（収穫日）

※試験期間中の気象は高温乾燥が続き、露地栽培には過酷な条件の中での栽培試験であった。

■ 試験場所

千葉県船橋市（黒ボク土壤に植物性堆肥を1,000kg/10a散布しトラクターで耕運した圃場）

■ 試験区の設定

堆肥以外は追肥なし

- ① ミネラルスター(MS) 30kg/10a区
- ② ミネラルスター(MS) 60kg/10a区
- ③ ミネラルスター(MS) 100kg/10a区
- ④ ミネラルスター(MS) 200kg/10a区
- ⑤ 対照（コントロール）区

【播種方法】

露地圃場に左記の各散布量を約7㎡の範囲に散布し、耕運後畝立し黒マルチでカバーした。各区に30cm間隔で3穴あけ、1穴に4種子1区計12種子を播種した。品種は「湯上り姫」(アタリヤ農園)である。

ミネラルスターの枝豆に対する効果事例

＜試験結果＞

(1)発芽生育本数を7月3日に調査した。対照区が12播種数中5本の発芽生育本数で42%の生存率であったのに比較して、ミネラルスター区は12播種数中8～10本の発芽生育本数であり、67～83%の生存率であった。(次ページ表参照)

枝豆試験地
7月3日
発芽生育状況



MS
30kg/10a区

MS
60kg /10a区

MS
100kg /10a区

対照区

MS
200kg /10a区

枝豆試験地
8月18日
収穫日の生育状況



ミネラルスターの枝豆に対する効果事例

<試験結果>

(2) 生育量および収穫量を8月18日に調査した。下表のようにMS60kg区は対照区と同等であったが、MS30kg区、MS100kg区、MS200kg区と量を増すごとに生育量・収穫量共に増加する結果であった。

枝豆の生育量および収穫量調査結果(8月18日)

測定項目 / 区		① MS30kg /10a区	② MS60kg /10a区	③ MS100kg /10a区	④ MS200 kg /10a区	⑤ 対照区 (無処理)
本数	発芽生育本数/ 播種数12 (7/3調査)	9/12	8/12	10/12	10/12	5/12
	間引後の本数 (8/18残本 数)	5	6	6	7	4
生育重	茎葉根実の 全重量 g	1,000	736	1,100	1,210	730
	⑤対照区を 100とした指 数	137	101	151	166	100
実収穫重	実の重量 g	467	380	558	572	395
	⑤対照区を 100とした指 数	118	96	141	145	100

ミネラルスターの枝豆に対する効果事例 〈試験結果〉

〈8月18日の地下部も含めた生育状況〉



MS30kg区

対照区



MS100kg区

対照区



MS200kg区

対照区